

ブラック・ショールズモデルの使い方に注意

非上場株式の 新株予約権の評価ポイント

第1章

ブラック・ショールズモデルの前提とは？
新株予約権の評価における
理論上のポイント

第2章

流動性が低い場合の価値評価は？
不完全市場・非上場の
新株予約権の評価の考え方

第3章

ノックアウトの判断で評価は変わる？
株価条件付きストック・オプションの
評価手法

野口 真人(株)プルータス・コンサルティング

役員・従業員へのインセンティブ目的で付与されるストック・オプションや、資金調達目的で発行されるワラントなど、新株予約権はさまざまなシーンで活用されている。ベンチャー企業などの非上場企業でも同様であるが、実務上その新株予約権を評価するにあたり、上場株式を前提とするブラック・ショールズモデルが適用できるのかなどの問題が生じる。そこで、本特集では、非上場株式の新株予約権を評価する際の留意点について、理論的アプローチと評価事例をもとに解説してもらった。